

授業科目	* 助産診断・ケア学Ⅲ(産褥期)				単位	1		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	MI21203J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	古賀 玉緒、山田 恵、新郷 朋香							
授業概要	<p>褥婦の助産診断に必要な観察の視点や方法について、課題事例を用いて解説する。 助産ケアの方法を理解し、グループメンバーと協力し実践方法を学ぶ。 この講義は対面授業および遠隔授業として実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 褥婦の身体的・心理的・社会的変化についての基本的知識をふまえた上で、助産師に必要な健康診査の目的・内容・方法を説明することができる。 2. 褥婦の身体回復・育児技術・母親役割獲得に必要な保健指導について根拠をふまえて安全・安楽に実施できる。 3. グループメンバーと協力し主体的に学習に取り組むことができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	20	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30						30	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30		20				50	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				10			10	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				10			10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準レベルに達し、知識や思考についてより詳細に根拠をふまえて説明ができる。				<p>1. 褥婦の身体的・心理的・社会的変化についての基本的知識をふまえた上で、助産師に必要な健康診査の目的・内容・方法を説明することができる。 2. 褥婦の身体回復・育児技術・母親役割獲得に必要な保健指導について根拠をふまえて安全・安楽に実施できる。 3. グループメンバーと協力し主体的に学習に取り組むことができる。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会 敵診断とケア(1)(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における身体的・心理的特徴、逸脱予 防のための支援について学ぶ。</p> <p>1)ワークシートや課題を活用し解説する。 (1)身体的特徴とケア ・退行性変化について</p>	講義・ ディスカッション	<p>課題1事前学習 課題2課題1の関連する内 容についてテキストを確認し ポイントに下線を引くなどして 講義につなぐ 課題3事例課題を実施する。 (別途提示)</p>	120
2	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会 的診断とケア(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における身体的特徴、逸脱予防のため の支援について学ぶ。(2)</p> <p>2)ワークシートや課題を活用解説する。 (1)身体的特徴とケア ・退行性変化を促進させるためのケア</p>	講義・ ディスカッション	予習:支援方法の確認を行 う。	60
3	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会 的診断とケア(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における心理的特徴、逸脱予防のため の支援について学ぶ。</p> <p>1)ワークシートや課題を活用し解説する。 (1)心理的社会的特徴とケア ・母親への適応過程 ・メンタルヘルス</p>	講義・ ディスカッション	<p>課題1事前学習 課題2課題1の関連する内 容についてテキストを確認し ポイントに下線を引くなどして 講義にのぞむ。 課題3事例課題を実施する。 (別途提示)</p>	60
4	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会 的診断とケア(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における心理的特徴、逸脱予防のため の支援について学ぶ。</p> <p>1)ワークシートや課題を活用し解説する。 (1)心理的社会的特徴とケア ・母親適応過程へのケア</p>	講義・ ディスカッション	予習:支援方法の確認を行 う。	30
5	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会 的診断とケア(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における身心理的特徴、逸脱予防のため の支援について学ぶ。</p> <p>1)ワークシートや課題を活用し解説する。 (1)身体的特徴とケア ・進行性変化</p>	講義・ ディスカッション	<p>課題1事前学習 課題2課題1の関連する内 容についてテキストを確認し ポイントに下線を引くなどして 講義にのぞむ。 課題3事例課題を実施する。 (別途提示)</p>	30
6	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会 的診断とケア(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における身心理的特徴、逸脱予防のため の支援について学ぶ。</p> <p>1)ワークシートや課題を活用し解説する。 (1)身体的特徴とケアの実践 ・進行性変化を促すためのケア</p>	講義・ ディスカッション	予習:支援方法の確認を行 う。	60
7	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会 的診断とケア(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における身体的・心理的特徴、逸脱予 防のための支援について学ぶ。</p> <p>1)ワークシートや課題を活用し解説する。 (1)身体的特徴とケア ・全身の回復 ・全身の回復を促すためのケア ・退院後の生活についてのケア</p>	講義・ ディスカッション	<p>課題1事前学習 課題2課題①の関連する内 容についてテキストを確認し ポイントに下線を引くなどして 講義にのぞむ。 課題3事例課題を実施する。 (別途提示)</p>	60

	・心身におけるセルフケア ・家族計画 等			
8	テーマ:特殊な状況にある褥婦の支援(1) (山田恵) 1. 事例をもとに支援について解説する。	講義・ ディスカッション	予習:教科書や参考図書を読み、重要箇所を斜線や付箋を示し講義にのぞむ。	60
9	テーマ:保健指導の実際(1) (古賀 山田 新郷 林) 1. 産褥期の助産技術を学ぶ。 ・グループメンバーと協力し技術演習を主体的に取り組む	講義・ 演習	予習:支援方法の確認を行う。	60
10	テーマ:保健指導の実際(2) (古賀 山田 新郷 林) 1. 産褥期の助産技術を学ぶ。 ・グループメンバーと協力し技術演習を主体的に取り組む	講義・ 演習	予習:支援方法の確認を行う。	30
11	テーマ:保健指導の実際(3) (古賀 山田 新郷 林) 1. 課題事例の支援を実施する 2. 自己の技術を振り返り課題を見出す。	演習 ディスカッション	予習:支援方法の確認を行う。	60
12	テーマ:保健指導の実際(3) (古賀 山田 新郷 林) 1. 課題事例の支援を実施する 2. 自己の技術を振り返り課題を見出す。	演習 ディスカッション	予習:支援方法の確認を行う。	30
13	テーマ:褥婦の支援(外部講師 山田 新郷 林) アロマセラピーを活用した周産期のケアを学ぶ。 ・アロマセラピーを実践する(上下肢)	演習(GW)	予習:教科書や参考図書を読み、重要箇所を斜線や付箋を示し講義にのぞむ。 復習:該当部分の復習を行う。	30
14	テーマ:褥婦の支援(外部講師 山田 新郷 林) アロマセラピーを活用した周産期のケアを学ぶ。 ・アロマセラピーを実践する(背部)	演習(GW)	予習:教科書や参考図書を読み、重要箇所を斜線や付箋を示し講義にのぞむ。 復習:該当部分の復習を行う。	30
15				30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	既習した産褥期の情勢の生理や看護ケアを復習し、看護技術(沐浴・ラッチオン・ポジショニング・新生児の抱き方、寝かせ方・衣類の着脱・、排気の仕方・子宮高の測定・子宮底の輪状マッサージなど)はについては、その目的や方法を理解し、正しく行えるように自己学習を行って臨んでください。			
テキスト	助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [2]分婛期・産褥期,我部山キヨ子他編,医学書院 今日の助産マタニティサイクルの助産診断,南江堂 根拠と事故防止から見た母性看護技術,石村由利子編,医学書院 病気が見える Vol.10 第4版,上田森生他編,MEDIC MEDIA			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日本産婦人科学会他編・監:産婦人科診療ガイドライン産科編 2020,日本産婦人科学会事務局 日本助産師会他編・監:助産業務ガイドライン 2019,日本助産師会出版社 エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠・分婛期・産褥期 2020—,2020,日本助産学会 必要に応じて資料を配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	既存の知識をふまえて根拠を明らかにしたうえで、実習で活用できる助産技術を身につけることができよう、個々が予習・復習や自己練習を心がけ、グループワークが円滑に運ぶよう準備をして講義に臨んで下さい。演習では、身だしなみを整え、円滑に展開できるよう準備・後片付けも自主的に行って下さい。感染予防ガイドラインを遵守し感染予防に努めましょう。			
達成度評価に関するコメント	評価は、試験、レポート(事前課題)、発表により判断します。 上記の評価が不可の場合は試験にて再試験を行います。			